鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）発行

伊集院保健所感染症情報

2026年第45週（令和8年11月2日～令和8年11月8日）

【お問い合わせ先】　〒899-2501　鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1　鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）
TEL（099）273-2332 ／ FAX　（099）272-5674 ／　E-mail　kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp
鹿児島地域振興局　URL　http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html

定点把握感染症

管内流行発生注意報発令中：インフルエンザ

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID）、小児科１、基幹定点１】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第42週	第43週	第44週	第45週	先週からの増減	第44週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	100.50	99.50	98.50	100.00	↗	59.68	↗
インフルエンザ	30	10	10	12.00	20.50	21.00	20.00	↘	14.04	↗
COVID-19	−	−	−	0.50	0.00	0.00	0.00	→	0.39	↗
咽頭結膜熱	3	1	−	0.00	1.00	0.00	0.00	→	0.61	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	−	5.00	4.00	3.00	2.00	↘	1.65	↗
感染性胃腸炎	20	12	−	5.00	7.00	1.00	1.00	→	4.06	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	**2.00**	0.00	↘	0.42	↗
手足口病	5	2	−	**3.00**	0.00	2.00	1.00	↘	0.48	↘
伝染性紅斑	2	1	−	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↗
突発性発しん	−	−	−	2.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.45	↗
ヘルパンギーナ	6	2	−	**5.00**	1.00	1.00	1.00	→	1.29	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
RSウイルス感染症	−	−	−	1.00	6.00	2.00	3.00	↗	0.94	↘

※警報域　：太文字で赤色の塗りつぶし、　注意報域　：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC　感染症を予防するために手を洗いましょう！

流行するインフルエンザやノロウイルスなどの胃腸炎など、様々な感染症の予防や感染拡大防止に、手洗いはとても重要です。

ハンドソープで 30 秒間もみ洗い後、流水ですすぐと、手についていた約百万個のウイルスを約数百個（約 0.001%）にまで減らす効果があると言われています。

日常生活では、帰宅後、用便後、調理前及び調理中の必要時、食事前、嘔吐物やおむつの交換後は入念に手を洗いましょう。

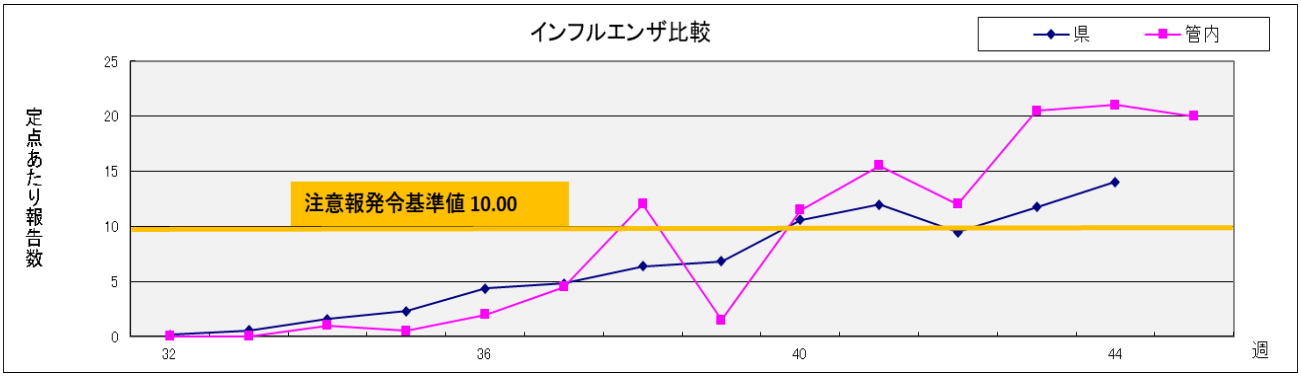
＊手洗手順

流水で手を洗い、液体石けんを約 2-3mL 手に取り、よく泡立てる。
①爪、②指の間、③親指の根本、④手首までしっかりもみ洗い、
⑤流水で流し、ペーパータオル等で拭き取る。



注意すべき感染症

・インフルエンザ（流行発生注意報発令中）



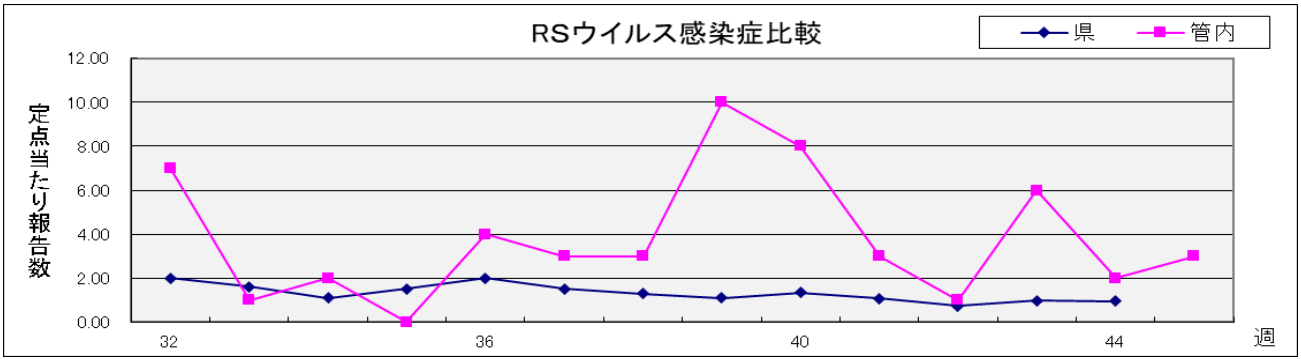
第 45 週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、40 人（定点当たり 20.00）でした。

年齢別では、10～14 歳（11 人）、70～79 歳（４人）、４ 歳・15～19 歳・40～49 歳（各３人）、２歳・３歳・５歳・６歳・８歳・９歳・70～79 歳・80 歳～（各２人）でした。

インフルエンザは、発症すると 38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防方法としては、普段から流水と石けんによる手洗いや、ワクチン接種をすること、咳が出る場合は、「咳エチケット」をすること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

・ RS ウイルス感染症



第 45 週の伊集院保健所管内における RS ウイルス感染症の報告数は、３人でした。年齢別では、0～5 ヶ月（2 人）、6 ヶ月～11 ヶ月が（1 人）でした。

RS ウイルス感染症は、急性の呼吸器感染症で、年齢を問わず何度も感染を繰り返しますが、初回感染時には、より重症化しやすいといわれており、特に生後 6 ヶ月以内に感染した場合には、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。

潜伏期は２～８日とされ、発熱、鼻汁、咳などの上気道炎症状が数日続きその後、場合によっては、気管支炎や肺炎などの下気道症状が出てきます。感染経路は、感染した人の咳やくしゃみなどによる飛まつ感染と、ウイルスの付着した手指や物などを介した接触感染といわれています。

予防対策は、鼻汁、咳などの呼吸器症状がある場合はマスクが着用できる年齢の子どもや大人はマスクを使用する、手洗いや手指衛生といった基本的な対策の徹底を行うことが大切です。

また、60 歳以上を対象としたワクチンと、生まれてくる子どもの予防を目的とした妊婦さんを対象としたワクチンもあります。

○学校における感染症による出席停止の状況 11/2～11/8（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）今

今週は、インフルエンザが 29 人（型不明 11 人、A 型 18 人）、流行性角結膜炎が２人、溶連菌感染症が１人、マイコプラズマ感染症１人、COVID－19 が 1 人報告されています。

疾患名 / 自治体名	インフルエンザ	インフルエンザA型	流行性角結膜炎	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	新型コロナ感染症
日置市	0	9	0	1	0	1
いちき串木野市	11	9	0	0	1	0
三島村	0	0	0	0	0	0
十島村	0	0	2	0	0	0
計	11	18	2	1	1	1